

平成21年11月10日

6年生の保護者の皆様

広島市立牛田小学校  
校長 西山 伏見

## 「全国学力・学習状況調査」の結果について

日ごとに秋の深まりを感じる季節になりました。皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について、お知らせします。この調査は、児童の学力・学習状況を把握・分析し、その改善を図るために全国的に実施されたものです。内容は教科（国語・算数）に関する学力調査と、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査でした。今後、その結果を児童の実態把握の資料のひとつとして活用していきたいと思えます。

本校の教科についての結果と今後の取り組みについては、次のとおりです。

### 1 国語の調査結果 【 A：基礎的な知識・技能 B：知識・技能を活用する力 】

#### 領域ごとの定着状況

領域	【国語A】 平均正答率（%）			領域	【国語B】 平均正答率（%）		
	全国	市	本校		全国	市	本校
話すこと・聞くこと	68.0	72.2	<b>82.4</b>	話すこと・聞くこと	61.3	64.0	<b>74.4</b>
書くこと	85.4	85.8	<b>91.4</b>	書くこと	14.5	16.5	<b>25.4</b>
読むこと	68.7	68.5	<b>77.5</b>	読むこと	56.5	59.8	<b>73.0</b>
言語事項	64.2	66.5	<b>76.8</b>	言語事項	59.7	62.5	<b>75.7</b>

#### 問題形式による定着状況

問題形式	【国語A】 平均正答率（%）			問題形式	【国語B】 平均正答率（%）		
	全国	市	本校		全国	市	本校
選択式	80.1	79.9	<b>85.6</b>	選択式	65.8	68.6	<b>76.4</b>
短答式	65.9	68.5	<b>79.3</b>	短答式	48.7	50.1	<b>56.0</b>
記述式	68.0	72.2	<b>82.4</b>	記述式	46.0	49.2	<b>62.8</b>

#### 定着状況

本校の平均正答率は、教科全体及び4領域において、A・Bともに、全国・県・市を上回っており、基礎的な学力は定着していると言える。Aの「読むこと」「言語事項」の領域では、設問にある言葉の意味を理解していないことによる誤答が多かった。また、Bの「書くこと」の領域では、目的に応じて必要な情報を整理したり、事象や意見などを関係付けながら書いたりすることによる誤答が多かった。

#### 課題

文の構成や役割をとらえ、段落や文章全体の構成を理解する力、内容を的確に読み要約する力、自分の考えをまとめて書く力を育成する。また、ローマ字を正しく読んだり書いたりする力を育てる。

### 今後の取り組みの重点

- ・ 語い力を高めるために、読書の奨励はもちろん、国語以外の学習においても、国語辞典を活用する。
- ・ 説明文の指導では、文章の構成や要約の仕方について理解させ、論理的に文章を書く力につなぐ。
- ・ 色々な場面で書く活動を取り入れ、自分の考えを表現する力をつける。

## 2 算数の調査結果 【 A：基礎的な知識・技能 B：知識・技能を活用する力 】

### 領域ごとの定着状況

領域	【算数A】 平均正答率(%)			領域	【算数B】 平均正答率(%)		
	全国	市	本校		全国	市	本校
数と計算	82.8	83.6	<b>91.2</b>	数と計算	55.8	58.4	<b>71.2</b>
量と測定	78.5	80.1	<b>90.1</b>	量と測定	59.9	61.7	<b>76.1</b>
図形	81.3	83.9	<b>90.1</b>	図形	56.4	59.1	<b>72.0</b>
数量関係	64.2	69.8	<b>80.3</b>	数量関係	56.8	59.1	<b>69.5</b>

### 問題形式による定着状況

問題形式	【算数A】 平均正答率(%)			問題形式	【算数B】 平均正答率(%)		
	全国	市	本校		全国	市	本校
選択式	76.7	77.1	<b>87.0</b>	選択式	68.9	69.4	<b>79.2</b>
短答式	79.5	82.1	<b>89.8</b>	短答式	63.7	65.7	<b>78.0</b>
記述式	-	-	-	記述式	36.8	40.2	<b>53.5</b>

### 定着状況

本校の平均正答率は、教科全体及び4領域において、A・Bともに、全国・県・市を大きく上回っており、基礎的な学力はよく定着していると言える。A・Bどちらにおいても、「量と測定」の領域の定着が他の領域に比べるとやや低い。数学的な考え方を問う記述問題の定着がやや低い。

### 課題

児童一人一人が自分の考えをもち、それについて理由をあげながら論理的に説明したり、記述したりする力を育てる。また、体験的な活動を多く取り入れ、情報を選択し、数量関係をいろいろな場面から考える力を育てる。

### 今後の取り組みの重点

- ・ 自力解決の時間を十分とり、自分の考えをもたせる。そして、それを聞く人に分かりやすく説明したり、記述したりする活動を多く取り入れる。
- ・ 長さや重さ、広さについて具体物を実際に調べたり、確かめたりする活動を意図的に取り入れ、体験的な活動をとおして、量の大きさについての感覚を豊かにする。